

製品化・実用化の状況（平成 27 年度実施）

調査対象：本助成事業の活用

事例のうち平成 22 年度から平成 26 年度に技術開発が終了した事業者

調査期間：平成 27 年 12 月 25 日（金）～平成 28 年度 1 月 15 日（金）

<製品化・実用化の状況> ※複数回答あり

出荷の有無を問わず製品化されているものは 33 件（27.9%）となり、固有の製品化以外に「既往の製品に要素技術として反映」しているものも 9 件（7.6%）みられる。また、30 件（25.4%）は「引き続き技術開発中」となっている。

項目	件数	割合
1. 既に製品化・実用化し、出荷している	26 件	22.0%
2. 既に製品化・実用化しているが、出荷実績はない	7 件	5.9%
3. 販売・量産化に向け生産体制を整えた（または整備中）	10 件	8.5%
4. 具体的な製品化・実用化に向け、試作品を作成した（または作成中）	12 件	10.2%
5. 製品化・実用化に向け引き続き技術開発中	30 件	25.4%
6. 既往の製品に要素技術として開発成果を反映（機能拡充や製品改良に貢献）	9 件	7.6%
7. 製品化・実用化することを取りやめた	5 件	4.2%
8. その他	19 件	16.1%

<論文掲載・特許取得等の状況>

論文掲載については、各応募提案者とも積極的に行われており、一つの提案で数十件の論分を発表したものもみられる。

項目	件数／事業数	
論分掲載	421 件／51 事業	
新聞・雑誌・各種メディアへの掲載	318 件／36 事業	
特許取得	申請中	70 件／23 事業
	取得済	37 件／18 事業